

## 競技規則・競技の条件・ローカルルール

### 競技の条件

#### 1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則および GRIDGE CUP の競技の条件・ローカルルールを適用する。

なお、この規則の適用にあたって一部に変更もしくは追加のある時は、競技委員会からその旨スタート前に告知する。

この競技の条件の違反の罰は、ゴルフ規則で別に定められている場合を除き、2 罰打とする。

[http://www.jga.or.jp/jga/html/rules/image/OfficialGuide\\_forWeb\\_20230309.pdf](http://www.jga.or.jp/jga/html/rules/image/OfficialGuide_forWeb_20230309.pdf)

#### 2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

#### 3. クラブと球

##### (1) 適合ドライバーヘッドリスト

ドライバーは R&A によって発行される最新の適合ドライバーヘッドリスト（モデルとロフトで識別される）上に掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。

##### (2) 使用球の規格

使用球は R&A 発行の最新の公認球リストに記載されているものでなければならない。この競技の条件の違反の罰は、競技失格とする。

##### (3) ワンボールルールは適用しない

#### 4. 電子機器（レーザー式距離測定器、コースナビゲーション）

プレーヤーは残りの距離やホールのレイアウトを確認する目的で、電子機器を使用することができる。

高低差を加味した加減算距離の計測も認めるものとする。

これにより得た情報の交換はアドバイスとならない。また、これを使用、操作するためにプレーを不当に遅延させてはならない。不当な遅延による罰は（7. 不当の遅延）を適用とする。

※水平測量機能を使用する目的で機器をコース上へ置くこと、またはストロークの補助となるような使用は禁止とする。この競技の条件の違反の罰は、1 回目は 1 罰打、2 回目は競技失格とする。

#### 5. 出場者の変更

予選におけるメンバー変更は認めるが、予選通過メンバーから決勝におけるメンバー変更は認めない。

#### 6. アドバイス

チーム戦においては同じチームのパートナーからアドバイスを受けることができる。シングル戦および他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合には JGA ゴルフ規則第 10 条によりそのホール 2 罰打を付加する。

#### 7. スタート時間

プレーヤーは自分のスタート時間の 10 分前にはスタートホールで競技説明を受けることとする。スタート時間から 5 分を超えた遅刻の罰は、競技失格となる。

#### 8. 不当の遅延

プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めている時はそれに従ってプレーしなければならない。前の組と著しく間隔が空いた場合、競技委員によりプレーのペースを速めるよう警告をする。

1 回目は警告、2 回目の警告で 1 罰打、3 回目の警告で 2 罰打を両チームへ課す。

また、ハーフ終了時に前組より 1 ホール以上空けて前半 9 ホールを終了した組は、休憩時間や昼食時間を短縮するものとする。正当な理由がなく前組より 2 ホール以上空けた場合は競技失格とする。

#### 9. プレーの中断；プレーの再開

険悪な気象状況によりプレーの中断を委員会が決定した場合においては、プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。

険悪な気象状況のためにプレーが中断となっている場合、競技委員会から許可があるまでは全ての練習場（指定練習パッティンググリーンを含む）をクローズとする。

#### 10. サイレン設置のコースにおけるプレーの中断と再開の合図について

- (i) 険悪な気象状況のための即時プレー中断→1 回の長いサイレン
- (ii) 通常のプレーの中断→3 回の連続するサイレンを繰り返す
- (iii) プレーの再開→2 回の短い間隔のサイレンを繰り返す

※サイレンの設置のないコースなど、開催コースにより中断、再開の合図は異なることがあるため、険悪な状況時にはコース、競技委員からの案内に注意すること。

#### 11. 練習

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで 2 罰打を加えなければならない。ただし、そのラウンドの最終ホールの時は、競技者はそのホールで罰を受ける。また、ハーフターン待ち時間の「指定練習グリーン」におけるパッティング練習は認める。

#### 12. 予選通過数

予選通過数は原則下記の通りとする。

- ・シングルス戦：2 名
- ・ダブルス戦アドバンスクラス：4 ペア
- ・ダブルス戦エンジョイクラス：5 ペア

ただし、エントリー数が極端に少ないクラス、多いクラスがある場合はエントリー数に応じて調整を行う場合がある。

### 13. 順位の決定方法

スコアがタイの場合は、下記の方法により順位を決定する。

<スクラッチ戦（シングルス戦・ダブルス戦アドバンスクラス）>

アウト・インのどちらからスタートにかかわらず、18番ホールからのカウントバックにより順位を決定する。

<ダブルペリア戦（ダブルス戦エンジョイクラス）>

アウト・インのどちらからスタートにかかわらず、

(1) ハンディキャップ少数上位 (2) 18番ホールからのカウントバック の順にて順位を決定する。

日没、または荒天のため、全組がホールアウトできず、なおかつ全組が9ホール以上消化した場合は、前半ハーフのスコアにより順位を決定する。その際アウトスタート、インスタートの別は考慮しない。

### 14. 競技終了

全ラウンドを終了し、競技委員会が公式スコア集計用紙に記入された内容に間違いがないことを確認（アテスト）し、承認公表した時点で競技終了とする。

## ローカルルール

### 1. アウトオブバウンズ Out of Bounds

アウトオブバウンズの境界は白杭または白線をもって標示する。また開催コースが定める境界を適用するものとする。

注：杭および線の両方により標示されている場合は、線がその境界を示す。

インプレーのボールが上記境界線を越えアウトオブバウンズとなった場合、ゴルフ規則に則った処置のほか、ボールが境界線を越えたと思われる付近を基点とし、その場所から2クラブレングス以内のホールに近づかないジェネラルエリア内にドロップし、2罰打を加えてプレーを再開できる。

※ただし、暫定球を打たずに前進してインプレーのボールがアウトオブバウンズだったことが判明した場合、元の場所に戻って打つことはできず、上記2罰打の処置を取らなければならない。

また、ティーショットにてアウトオブバウンズとなった場合、当該ホールに特設ティー（プレイングフォーなど）が設置されている場合は、使用コースのローカルルールに則って特設ティーからのプレー再開とする。

## 2. 紛失球 Lost balls

インプレーのボールが見つからず紛失球となった場合、ゴルフ規則に則った処置のほか、ボールを紛失したと思われる付近を基点とし、その場所から2クラブレンジス以内のホールに近づかないジェネラルエリア内にドロップし、2罰打を加えてプレーを再開できる。  
※ただし、暫定球を打たずに前進してインプレーのボールが見つからない場合、元の場所に戻って打つことはできず、上記2罰打の処置を取らなければならない。

## 3. プリファード・ライ

悪天候などにより、プリファード・ライが適用される場合がある。プリファード・ライが適用可能かどうかは、競技委員より競技前に宣言されるものとする。

※プリファード・ライとは、雨などの悪天候の影響でコースコンディションが悪い時に「ボールを拾い上げて汚れを拭き取り指定範囲内に無罰でプレースすることを許す」というローカルルールです。

拾い上げる前に球の位置をマークし、元のマークした位置からその競技委員会が設定した条件下に球をプレースすることができます。

### 【注意事項】

1. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 開催コースドレスコード等、その他マナーエチケットを守れない場合、退場および競技失格とする。
3. 開催コースにおいて独自のローカルルールが設定されている場合は、コースのローカルルールに従うこととする。

以上